



1945年7月3日夜、
 姫路空襲のさ中、
 6歳の姉の手かららもぎとられて
 3歳のよしこは
 炎の中に消えていった。



(たかとうまさこ)
 1939年神戸市生まれ。日本文藝家協会、日本ペンクラブ、日本現代詩人会会員、『学校』(2005年、思潮社)で小野十三郎賞受賞。

(たじまゆきひこ)
 1940年大阪生まれ。『紙園祭』(1976年、童心社)でブチスラバ世界絵本原画展金のリンゴ賞、『しごくのそうべえ』(1978年、童心社)で絵本にっほん賞受賞。他に絵本など多数。

作・たかとう匡子
 たじまゆきひこ

A4判変型上製 定価1470円(税込)

よしこがもえた

今ではとおい昔になりましたが、まるできのうのこのようです。
 おそろしい戦争があって、日本の町という町が空襲にあい、焼け野原になりました。
 1945年7月3日の夜、わたしの悲しい出来事が起こります。
 あれから67年。わたしはすっかりおばあさんになりました。
 あのと、よしこは3歳、わたしは小学校一年生でした――。

6月21日発売!

注文書	帖合・書店印	新日本出版社 Fax03-3423-8419		お名前
		作・たかとう匡子/たじまゆきひこ よしこがもえた		ご住所
		冊	A4判変型上製/32頁 定価1470円(本体1400円) ISBN 978-4-406-05581-9	お電話